

(三枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(ただし、すべて解答用紙に記入するもの)

(国語科)

- 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(本文・ヤフコピ「タリコピ投稿者形」による)

(二枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 傍線部 a、d の語について、カタカナは適切な漢字を、漢字は適切な読みを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号1、bは解答番号2、cは解答番号3、dは解答番号4の解答欄にそれぞれマークしなさい。

- | | | | | | |
|---|------|------|------|-------|------|
| a | ① ひじ | ② ひさ | ③ すね | ④ かかと | ⑤ かた |
| b | ① 合性 | ② 愛称 | ③ 相性 | ④ 愛唱 | ⑤ 相称 |
| c | ① 避難 | ② 被難 | ③ 悲嘆 | ④ 否嘆 | ⑤ 非難 |
| d | ① とら | ② うば | ③ かま | ④ した | ⑤ つか |

問二 にあてはまる最も適切な語を、次の①～⑤の中から一つ選び、記号で答えなさい。解答番号5の解答欄にマークしなさい。

- ① 合理 ② 革新 ③ 良心 ④ 印象 ⑤ 客観

問三 レックスだけの問題ではなかったとありますが、わたしがそのように思った根拠が表れているのはどの描写ですか。次の①～⑤の中から、最も適切なものを選び、記号で答えなさい。解答番号6の解答欄にマークしなさい。

- ① 「B型実 第三世代か。たしか太陽光の吸収に問題のあるA.Fじゃなかったかしら」と母親が言いました。
- ② 第三世代のA.Fは世の多くのお子様には大きな幸せをもたらしています。
- ③ お客様が店から出ていくまでレックスは笑顔を変えず、そのあと悲しい素振りなど見せませんでした。
- ④ お日さまから教時間でも選ぶと、A.Fはなんとなくだるくなるのを感じ、自分はどこか悪いのではないかと心配になります。
- ⑤ 誰もがいつかウィンドーに立てると約束され、順番を心待ちにしていたのには、もちろん、店長さんの言う「特別な名 誉」もあつたでしょう。

問四 次の文章は、平成二十九年三月告示の小学校学習指導要領 国語 目標を示したものです。空欄 (a) と (c) にあてはまる言葉は何ですか。あとの①～④の中から、正しい組合せを選び、記号で答えなさい。解答番号7の解答欄にマークしなさい。

言葉による見方・考え方を働かせ、(a)を通して、国語で正確に理解し(b)に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し(b)に使うことができるようにする。

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や(c)を養う。

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

- | | | | |
|---|--------|------|-------|
| ① | a 単元 | b 適切 | c 想像力 |
| ② | a 言語活動 | b 的確 | c 表現力 |
| ③ | a 言語活動 | b 適切 | c 表現力 |
| ④ | a 単元 | b 的確 | c 判断力 |
| ⑤ | a 言語活動 | b 適切 | c 想像力 |

5 小学校 問題用紙

(三枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 第六学年「読むこと」の学習において、説明的な文章を読んだことを基に自分の考えをまとめ、友達と伝え合う学習活動を行うこととします。その際、筆者が自分の主張を伝えるために工夫していることについて、児童が捉えることができるように、どのようなことを指導しますか。次の①～⑥の中から、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。解答番号の解答欄にマークしなさい。

- ① 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈し、論理の展開や表現の仕方について根拠を明確にして考えること。
- ② 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
- ③ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- ④ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
- ⑤ 資料を活用するなどして、表現を工夫したり、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

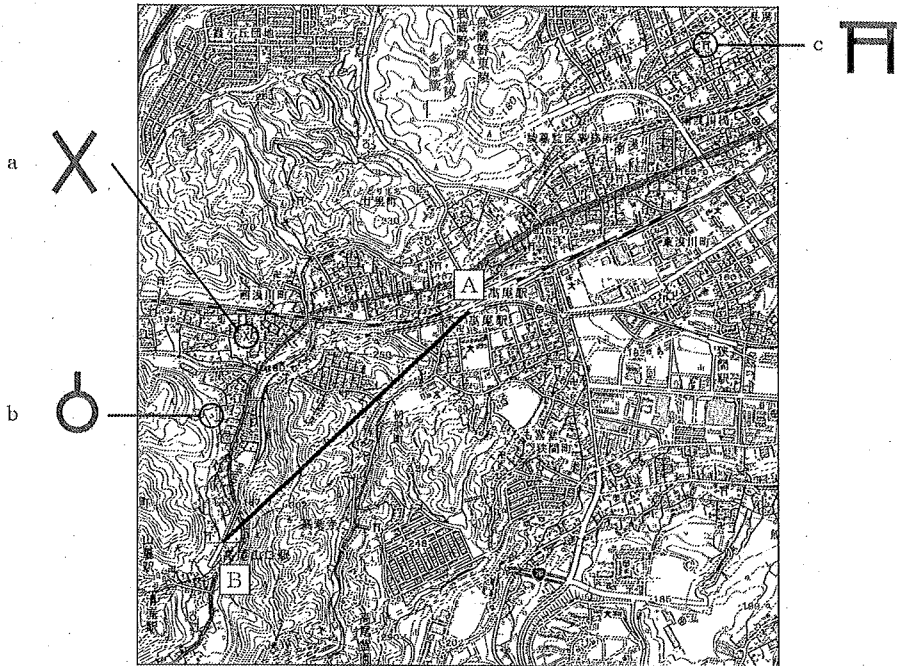
(社会科)

- 1 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 社会 各学年の目標及び内容 [第3学年] 目標 の一部を示したものです。空欄 (a)・(b) にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号9、bは解答番号10の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(1) 身近な地域や (a) の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、(b) との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (a) ① 学校の周り ② 市区町村 ③ 都道府県 ④ 自然 ⑤ 場所
 (b) ① 土地利用 ② 交通 ③ 外国 ④ 人々の生活 ⑤ 見学・調査

- 2 第3学年において「身近な地域」の学習を行うこととします。次の地形図を見て、あとの1・2に答えなさい。



(国土地理院2万5千分の1の地形図)

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 1 地形図中の地図記号 a～c の名称の組合せとして正しいものを、下の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。



- | | | |
|---------|-------|------|
| ① a 交番 | b 果樹園 | c 神社 |
| ② a 交番 | b 畑 | c 神社 |
| ③ a 交番 | b 畑 | c 寺院 |
| ④ a 消防署 | b 果樹園 | c 神社 |
| ⑤ a 消防署 | b 畑 | c 寺院 |

- 2 地形図中のA地点からB地点までの距離は6 cmです。実際の距離として正しいものを、下の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 150メートル ② 1.5キロメートル ③ 15キロメートル ④ 150キロメートル ⑤ 1500キロメートル

- 3 第4学年「自然災害から人々を守る」の学習において、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを取り上げることとします。その際、どのようなことに配慮して指導しますか。次の①～⑤の中から、適切でないものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。

- ① 関係機関については、県庁や市役所を中心に取り上げ、県や市が策定した防災計画に基づく防災対策、防災情報の発信や避難体制の確保などの対策や事業の取組を取り上げる。
- ② 地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるようにする。
- ③ 地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの中から、過去に国内で発生したものを選択して取り上げる。
- ④ 県庁や市役所は、消防署や警察署、自衛隊など国の関係機関とも連携・協力して人々の安全を守る活動を行っていることに気付かせる。
- ⑤ 実際に自然災害によって被災した地域や被災が想定される地域を取り上げる際には、個人の置かれている状況やプライバシーなどに十分配慮する。

5 小学校 問題用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(算数科)

- ① 次の a～c の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領「算数」各学年の目標及び内容の一部を示したものです。a～c の文とそれが示された学年の正しい組合せを、下の㉠～㉤の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号14の解答欄にマークしなさい。

- | |
|---|
| a 長さの単位（キロメートル (km)）及び重さの単位（グラム (g)、キログラム (kg)）について知り、測定の意味を理解すること。 |
| b 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。 |
| c 変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。 |

- | | | |
|----------|--------|--------|
| ㉠ a 第3学年 | b 第6学年 | c 第5学年 |
| ㉡ a 第3学年 | b 第5学年 | c 第4学年 |
| ㉢ a 第4学年 | b 第6学年 | c 第5学年 |
| ㉣ a 第2学年 | b 第5学年 | c 第4学年 |
| ㉤ a 第2学年 | b 第4学年 | c 第5学年 |

- ② 見取図や投影図で示された立体図形があります。これらに関して、あとの1・2に答えなさい。

- 1 図1のように、一辺の長さが1 cmの立方体4個からなるブロックA、Bを隙間なく組み合わせて図2のような直方体を作ります。ブロックA、Bの重さがそれぞれ5 g、8 gであるとき、図2の直方体の重さの最大値、最小値として正しい数値を、下の㉠～㉤の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。最大値は解答番号15の解答欄に、最小値は解答番号16の解答欄にマークしなさい。

問題に誤りがあったため、掲載いたしません。
 なお、すべての受験者に対し、正答として扱うこととします。

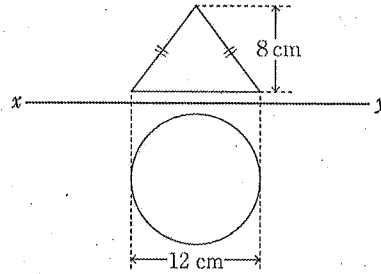
5 小学校 問題用紙

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

2 次の図は、ある立体の投影図です。この立体について、下の(1)～(3)に答えなさい。



(1) この立体の体積を、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

- ① $32\pi \text{ cm}^3$ ② $48\pi \text{ cm}^3$ ③ $64\pi \text{ cm}^3$ ④ $80\pi \text{ cm}^3$ ⑤ $96\pi \text{ cm}^3$

(2) この立体の展開図を、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号18の解答欄にマークしなさい。

①	②	③	④	⑤

(3) この立体の表面積を、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号19の解答欄にマークしなさい。

- ① $\frac{272}{5}\pi \text{ cm}^2$ ② $86\pi \text{ cm}^2$ ③ $96\pi \text{ cm}^2$ ④ $\frac{308}{3}\pi \text{ cm}^2$ ⑤ $111\pi \text{ cm}^2$

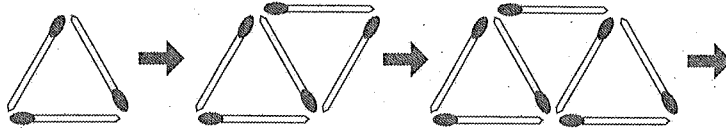
5 小学校 問題用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 3 次の図のように、同じ長さのマッチ棒を組み合わせると正三角形を作り、右横につないでいくとき、下の1・2に答えなさい。



- 1 正三角形の個数が $2n$ 個の時に必要なマッチ棒の本数を、 n を用いて表します。次の①～⑤の中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。ただし、 n は自然数とします。解答番号20の解答欄にマークしなさい。

① $3n+1$ ② $4n+1$ ③ $2n+1$ ④ $3n+2$ ⑤ $2n+3$

- 2 285本のマッチ棒をすべて使って作ることができる正三角形の個数を、次の①～⑤の中から1つを選び、記号で答えなさい。解答番号21の解答欄にマークしなさい。

① 71個 ② 96個 ③ 119個 ④ 141個 ⑤ 142個

- 4 第6学年「データの考察」の学習において、20年前と今の児童の体力を比較する学習活動を行うこととします。児童が統計データの特徴を読み取り判断する際、その妥当性について批判的に考察できるようにするために、どのように指導しますか。次の①～⑤の中から、最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号22の解答欄にマークしなさい。

- ① 代表値による比較や柱状グラフの分析に誤りはなかったかを振り返らせたり、第三者によって提示された統計的な結論が信頼できるだけの根拠を伴ったものであるかどうかを検討させたりする。
 ② 測定した結果を平均する方法と平均の意味を関連させて理解できるようにする。また、測定には必ず誤差が伴うことに気付かせ、それを考慮に入れた測定値の平均について指導する。
 ③ データを分析する際に注目する観点を定め、その観点に沿って分類整理し、簡単な表やグラフに表してデータの特徴を読み取り、事象について考察させる。
 ④ 必要なデータを収集し、コンピュータなどを利用して、ヒストグラムなどを作成してデータの傾向を捉えさせる。
 ⑤ 各階級の度数について、相対度数を用いることで、大きさの異なる集団の階級ごとの比較ができることを指導する。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(理科)

- ① 次の文章は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 理科 指導計画の作成と内容の取扱い の一部を示したものです。空欄 (a)・(b) にあてはまる言葉は何ですか。下の㉑～㉗の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号23、bは解答番号24の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(2) 観察、実験などの指導に当たっては、指導内容に応じてコンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用できるようにすること。また、第1章総則の第3の1の(3)のイに掲げるプログラミングを体験しながら (a) を身に付けるための学習活動を行う場合には、児童の負担に配慮しつつ、例えば第2の各学年の内容の〔第6学年〕の「A物質・エネルギー」の(4)における電気の性質や働きを利用した道具があることを捉える学習など、与えた (b) に応じて動作していることを考察し、更に (b) を変えることにより、動作が変化することについて考える場面で取り扱うものとする。

- ㉑ 問題解決能力 ㉒ 情報活用能力 ㉓ 記号 ㉔ 論理的思考力
 ㉕ 情報 ㉖ 条件 ㉗ 科学的思考力

- ② 第3学年「光と音の性質」の学習を行うこととします。次の1・2に答えなさい。

- 1 光と音の性質についての説明として最も適切なものを、次の㉑～㉗の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号25の解答欄にマークしなさい。

- ㉑ 光源を出た光は、一方向にのみ、とぎれることなく直進する。
 ㉒ 光が反射するとき、入射角と反射角はいつも等しい。これを光の反射の法則という。
 ㉓ ふくらみが大きい凸レンズほど、光の屈折のしかたが大きくなるので、焦点距離は長くなる。
 ㉔ 音は空気などの気体の中で伝わり、水などの液体や金属などの固体の中では伝わらない。
 ㉕ モノコードの弦を太い弦にかえると、音は大きくなる。

- 2 モノコードの弦をはじいて音を出し、オシロスコープを使って出した音の波形を調べたところ、弦の振動1回の時間が0.005秒でした。このときの振動数は何Hzですか。次の㉑～㉗の中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号26の解答欄にマークしなさい。

- ㉑ 20 Hz ㉒ 25 Hz ㉓ 100 Hz ㉔ 200 Hz ㉕ 250 Hz

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

3 第6学年「生物と環境」の学習を行うこととします。その際、どのようなことに留意して指導する必要がありますか。次の①～⑥の中から、適切でないものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号27の解答欄にマークしなさい。

- ① 植物は自らでんぷんをつくりだしているが、人や他の動物は植物あるいは動物を食べていることから、食べ物を通して生物が関わり合って生きていることを整理し、相互の関係付けを図って理解できるようにする。
- ② 水中の小さな生物を観察する際には、顕微鏡などの観察器具を適切に操作できるように指導する。
- ③ 植物に日光を当てると、二酸化炭素を取り入れて酸素を出すことが植物の呼吸であることについて、資料などを活用して触れるようにする。
- ④ 自分が環境とよりよく関わっていくためにはどのようにすればよいか、日常生活に当てはめて考察するなど、持続可能な社会の構築という観点で扱うようにする。
- ⑤ 観察、実験が行いにくい活動については、映像や模型、図書などの資料を活用するなどして、児童の理解の充実を図るようにする。

5 小学校 問題用紙

(1枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(生活科)

- ① 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 生活 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕目標の一部を示したものです。空欄(a)・(b)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑦の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号28, bは解答番号29の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(3) 自分自身を見つめることを通して、自分の(a),身近な人々の支えについて考えることができ、自分の(b)に気づき、意欲と自信をもって生活するようになる。

- ① 家族や友達 ② よさや可能性 ③ 家庭や地域 ④ 思いや願い
 ⑤ 自立や役割 ⑥ 生活や成長 ⑦ 資質や能力

- ② 第2学年「いきもの大すき」の学習を行うこととします。次の1・2に答えなさい。

- 1 次の表は、動物の名前と、えさや飼育環境の例を示したものです。下の①～⑦の中から、適切な組合せを2つ選び、記号で答えなさい。ただし、解答の順序は問いません。解答番号30・31の解答欄にマークしなさい。

	動物の名前	えさ(例)	飼育環境(例)
①	ウサギ	ネギ タマネギ	・飼育舎は夏期は湿気がこもらず、冬期に日当たりがよいところにする。 ・まめに掃除をして足を常に乾いた状態にしておく。
②	シオカラトンボ(ヤゴ)	ミカンの葉 サンショウの葉	・水の入った水槽に小石や砂を敷き、一部に陸地を作っておく。 ・前足が出始めたら水を少なくする。
③	ダンゴムシ	枯れ葉 煮干し	・ときどき霧吹きで土を湿らせる。 ・割れた植木鉢や石を入れてすみかを作る。
④	アゲハ	リンゴ オヒシバ	・虫かごの内側についた水滴は拭き取る。 ・大きくなった幼虫はえさをたくさん食べるため多めにしておく。
⑤	モルモット	トウモロコシ キャベツ	・暑い夏は直射日光が当たらない、風通しのよい場所にケージを置く。 ・寒い冬は夜間に毛布を掛けたり、風よけを設けたりする。
⑥	カエル(おたまじゃくし)	食パン かつおぶし	・羽化が近づいたら、木の枝を立て、枝の先を水面から30 cm程度出す。 ・水槽の水をかえるときは1日汲み置きした水を使う。
⑦	ショウリョウバッタ	アカムシ ミミズ	・ときどき霧吹きで土を湿らせる。 ・蓋のある虫かごで飼育する。

- 2 動物の飼育に関して、どのようなことに配慮する必要がありますか。次の①～⑤の中から、適切でないものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号32の解答欄にマークしなさい。

- ① 飼育する動物としては、身近な環境に生息しているもの、児童が安心して関わるができるもの、えさやりや清掃など児童の手で管理ができるもの、動物の成長の様子や特徴が捉えやすいもの、児童の夢が広がり多様な活動が生まれるものなどが考えられる。
 ② 専門的な知識をもった地域の専門家や獣医師などの多くの支援者と連携して、よりよい体験を与える環境を整える。
 ③ 2学年間の見通しをもちながら、植物の栽培に取り組んだ場合には、動物の飼育については取り扱わなくてもよい。
 ④ 活動の前には、必ず手洗いをする習慣を付け、感染症などの病気の予防に努めることも大切である。
 ⑤ 児童のアレルギーなどについて、事前に保護者に尋ねるなどして十分な対応を考えておく。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(音楽科)

- ① 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 音楽 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕目標の一部を示したものです。空欄(a)・(b)にあてはまる言葉は何ですか。下の㉠～㉣の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号33, bは解答番号34の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて(a)とともに、(b)ために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。

- ㉠ 関連付ける ㉡ 創意工夫を生かした音楽表現をする ㉢ 気付く ㉣ 主体的に音楽表現をする
 ㉤ 理解する ㉥ 表したい音楽表現をする ㉦ 音楽表現を楽しむ

- ② 次の楽譜は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 音楽 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕内容の取扱い(1)イに示されている歌唱共通教材の「われは海の子」についての楽譜の一部を抜粋したものです。これに関して、あとの1～3に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 1 空欄 にあてはまる旋律として正しいものを、次の㉠～㉣の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号35の解答欄にマークしなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

2 この曲は何調ですか。次の㉑～㉕の中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号36の解答欄にマークしなさい。

- ㉑ ロ短調 ㉒ ニ長調 ㉓ イ短調 ㉔ ヘ長調 ㉕ ト長調

3 第6学年において、教材「われは海の子」を使って、歌唱の指導を行うこととします。児童が、どのように歌うかについて思いや意図をもち、曲の特徴にふさわしい表現を工夫することができるようにするために、どのようなことに留意して指導しますか。次の㉑～㉕の中から、適切でないものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号37の解答欄にマークしなさい。

- ㉑ 児童が工夫した表現を互いに聴き合いながら、それぞれの表現のよさを認め合う体験を積み重ねるようにする。
㉒ 思いや意図を言葉や音楽で伝え合うことと、実際に歌ってみることを繰り返しながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するように促す。
㉓ その曲にふさわしい歌唱表現に対する思いや意図の質を高められるように、必ず曲想と曲の背景との関わりについて理解した後に表現を工夫するように指導する。
㉔ 児童の表現の変容を捉えて教師が具体的に伝えるなど、児童が思いや意図をもって歌唱の活動に取り組むことによって、歌唱表現が豊かになったことを価値付け、全体で共有する。
㉕ 曲の特徴についての理解を深めたり、必要な技能を身に付けたりしながら、表現方法などを様々に試すなどして、歌唱表現を工夫する楽しさを味わい、思いや意図を膨らませるようにする。

5 小学校 問題用紙

(1枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(図画工作科)

- 1 次の文章は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 図画工作 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕内容 A 表現 の一部を示したものです。空欄 (a) ～ (c) にあてはまる言葉は何ですか。下の㉠～㉤の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号38, bは解答番号39, cは解答番号40の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 造形遊びをする活動を通して、身近な材料や (a) などを基に造形的な活動を思い付くことや、(b) 形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、(c)、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。

- ㉠ イメージ ㉡ 伝えたいこと ㉢ 新しい ㉣ 場所 ㉤ 経験したこと
 ㉥ 感じたこと ㉦ いろいろ

- 2 次のア～オは、電動糸のこぎりの使い方について説明した文です。説明が正しければ○、間違っていれば×とすることとして、その正しい組合せを下の㉠～㉤の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号41の解答欄にマークしなさい。

ア 電動糸のこぎりの刃は、切る人の手前に向けて、下向きになるように取り付ける。

イ 刃を取り付ける前に、電動糸のこぎりの電源プラグをさし込み、電源を切る。

ウ 刃を取り付けるときは、まず刃の上部を固定し、次に刃の下部を固定する。

エ 板を切るときは、電動糸のこぎりの正面に立ち、両手で板をしっかり押さえてゆっくり動かす。

オ 形をくり抜きたいときは、板にキリで穴を開け、そこに刃を通して取り付けてから切る。

	㉠	㉡	㉢	㉣	㉤
ア	×	○	○	○	×
イ	×	×	○	×	○
ウ	○	×	×	○	×
エ	○	○	×	×	○
オ	×	○	○	○	×

- 3 第6学年「わたしの大切な風景」の学習において、身の回りにある日常の風景を絵に表すこととします。その際、どのようなことに留意して指導しますか。次の㉠～㉤の中から、適切でないものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号42の解答欄にマークしなさい。

㉠ 何枚もアイデアスケッチをかけるようにしたり、表しながら段取りを考え直したりするなど、児童一人一人の個性に応じて構想できるようにする。

㉡ 児童が自分の表したいことを実現するために、友人の表現方法や絵の具の使い方が自然に取り入れられるような学習環境を設定する。

㉢ 表現の方法は様々にあり、自分の表したいことに適した表現方法や材料、用具などを選ぶことや、どのように組み合わせれば表現上の効果を得られるかを試していくことなどの大切さを児童に伝えるようにする。

㉣ 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどの造形的な特徴を捉えて絵に表すことができるように、絵に表す順序や方法、構図を教師が提示する。

㉤ 児童自身が主題を発想することを大切に、自分の考えや活動を問い直しながら主題の表し方や計画を考えることができるようにする。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(家庭科)

- 1 次の文章は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 家庭 各学年の内容〔第5学年及び第6学年〕内容の一部を示したものです。空欄(a)～(c)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号43, bは解答番号44, cは解答番号45の解答欄にそれぞれマークしなさい。

A 家族・家庭生活

(2) 家庭生活と仕事

ア 家庭には、家庭生活を(a)仕事があり、互いに協力し分担する必要があることや(b)の有効な使い方について理解すること。

イ 家庭の仕事の(c)を考え、工夫すること。

- (a) ① 営む ② よりよくする ③ 支える ④ 整える ⑤ 補う
 (b) ① 生活空間 ② 生活時間 ③ 生活費 ④ 生活資源 ⑤ 生活用品
 (c) ① 目的 ② 分担 ③ 方法 ④ 内容 ⑤ 計画

- 2 第6学年「衣服の着用と手入れ」の学習を行うこととします。あとの1・2に答えなさい。

- 1 次の記号は、洗濯表示を表したものです。それぞれの記号に対する洗濯のしかたや乾燥のしかたについて、下の①～⑥の中から、最も適切な組合せを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号46の解答欄にマークしなさい。

	a	b
洗濯表示	著作権保護の観点により、掲載いたしません。	

(消費者庁リーフレット「新しい洗濯表示」)

	a	b
①	液温は30℃を限度とし、手洗いができる。	平干しがよい。
②	液温は40℃を限度とし、手洗いができる。	平干しがよい。
③	液温は30℃を限度とし、手洗いができる。	つり干しがよい。
④	液温は40℃を限度とし、手洗いができる。	つり干しがよい。
⑤	液温は30℃を限度とし、手洗いができる。	ぬれつり干しがよい。
⑥	液温は40℃を限度とし、手洗いができる。	ぬれつり干しがよい。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

2 「衣服の着用と手入れ」の学習を行う際、どのようなことに配慮する必要がありますか。次の①～⑤の中から、最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号47の解答欄にマークしなさい。

- ① 衣服の主な働きについては、生活に役立つばかりではなく、着用することで豊かな気持ちになることが理解できるよう配慮する。
- ② 日常着における布の特徴については、縫いやすいなどの扱いやすさや、丈夫さなどの性質を考え、目的や使い方に応じて適したものを選べるよう配慮する。
- ③ 季節や状況に応じた日常着の快適な着方については、観察や実験を通して具体的に考えられるよう配慮する。
- ④ 季節に合わせた衣服の購入については、社会科の第3学年「地域に見られる生産や販売の仕事」の学習と関連を図るよう配慮する。
- ⑤ 衣服の手入れをする際には、慎重な針の扱いやアイロンの置き方など、安全に留意して行うことができるよう配慮する。

3 第6学年「献立の立て方」の学習において、1食分の献立について栄養バランスを考える学習を行うこととします。児童が食生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成するために、どのような学習活動を行いますか。次の①～⑤の中から、適切でないものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号48の解答欄にマークしなさい。

- ① 児童の日常生活の中から、1食分の食事内容について問題を見だし、課題を設定する。
- ② 課題を解決する方法については、調理実習の試食や学校給食を振り返って食事の仕方について話し合ったり、楽しく食べるための工夫について検討したりする。
- ③ 振り返りについては、献立作成で考えたことや工夫したことを評価し、発表し合う活動などを通して、どのように改善して生活に生かしたらよいかを考える。
- ④ 調理実習と関連を図り、米飯とみそ汁、ゆでたりいためたりしたおかずなどどのような料理や食品を加えればよいかを考える。
- ⑤ 遠足・集団宿泊的行事などと関連を図り、料理や食品を選んで食事をする際には、どのように組み合わせて食べたらよいかを考える。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(体育科)

- 1 次の表は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 体育 各学年の目標及び内容 に示された体づくり運動系の領域における各学年の(1)知識及び技能の内容について示したものです。空欄(a)～(d)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号49, bは解答番号50, cは解答番号51, dは解答番号52の解答欄にそれぞれマークしなさい。

第1学年及び第2学年	(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。 ア 体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、(a)の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。 イ 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすること。
第3学年及び第4学年	(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、(a)の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。 イ 多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを(b)こと。
第5学年及び第6学年	(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、体を動かす心地よさを味わったり、(c)を高めたりすること。 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、(a)との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりすること。 イ (c)を高める運動では、ねらいに応じて、(d)、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすること。

- ① 体の柔らかさ ② 気持ち ③ 体の動き ④ 繰り返す
⑤ 組み合わせる ⑥ 体力 ⑦ 心と体 ⑧ 柔らかな動き

- 2 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 体育 各学年の目標及び内容 [第3学年及び第4学年] 内容 D 水泳運動 の一部を示したものです。空欄(a)～(c)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、最も適切な組合せを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号53の解答欄にマークしなさい。

(2) (a) 課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を(b)とともに、(c)を友達に伝えること。

- ① a 自己の能力に適した b 工夫する c 考えたこと
② a 仲間の能力に応じた b 試す c 試したこと
③ a 自己の技能に応じた b 工夫する c 判断したこと
④ a 自己の能力に適した b 工夫する c 判断したこと
⑤ a 自己の技能に応じた b 試す c 考えたこと

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

③ 第6学年「病気の予防」の学習を行うこととします。児童が病気の発生要因や予防方法について理解できるようにするために、どのようなことを指導しますか。次の①～⑤の中から、最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号54の解答欄にマークしなさい。

- ① 生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えることが必要であること。
- ② 個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。
- ③ 手や足などの清潔、ハンカチや衣服などの清潔を保つことが必要であること。
- ④ 体の発育・発達によい運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であること。
- ⑤ 病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めること及び望ましい生活習慣を身に付けることが必要であること、また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は健康を損なう原因となること。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

(外国語科)

- 1 次の文は、平成29年3月告示の小学校学習指導要領 外国語 目標 の一部を示したものです。空欄 (a) ~ (c) にあてはまる言葉は何ですか。下の①~⑤の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。aは解答番号55, bは解答番号56, cは解答番号57の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(2) コミュニケーションを行う (a) などに応じて、(b) について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、(c) などを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

- (a) ① 目的や場面、状況 ② 目的や状況、相手 ③ 目的や場面、相手
 ④ 目的や相手、背景 ⑤ 目的や場面、背景
- (b) ① 身近で日常的な事柄 ② 日常的な話題 ③ 身近で簡単な事柄
 ④ 社会的な話題 ⑤ 日常的で簡単な事柄
- (c) ① 自分の考えや気持ち ② 簡単な情報や考え ③ 考えたことやその理由
 ④ 趣味や好き嫌い ⑤ 事実や自分の気持ち

- 2 第5学年及び第6学年において「読むこと」の言語活動を指導することとします。その際、どのようなことに留意する必要がありますか。次の①~⑤の中から、最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。解答番号58の解答欄にマークしなさい。

- ① 活字体で書かれた文字を識別する活動を単元の中で集中的に取り扱い、児童が活字体を大文字であるか小文字であるかを確実に識別できるようにする。
- ② 児童が文字の音の読み方と名称の読み方とで混同することがないように、必ず語の発音と綴りを関連付けながら指導し、児童が適切に語を発音できるようにする。
- ③ 絵本には同じ表現が繰り返して示されている特徴があるため、読み聞かせを行う際は児童を静かにさせ、簡単な語句や表現を確実に聞き取ることができるようにする。
- ④ 読ませる語句や表現に音声で十分慣れ親しませた上で、児童が絵本などから簡単な語句や基本的な表現を識別することができるようにする。
- ⑤ 絵や写真などの視覚材料がなくても、児童が内容を推測しながら読み、必要な情報を得ることができるようにする。

5 小学校 問題用紙

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 3] 次の対話文は、学級担任 Ms. Sato, 外国語指導助手 (ALT) Mr. Brownと児童との授業中のやり取りを示したものです。空欄 ・ にあてはまる英文として最も適切な組合せを、下の①～⑥の中から1つ選び、記号で答えなさい。解答番号59の解答欄にマークしなさい。

Ms. Sato: Hello, everyone. Today, I would like to introduce Mr. Brown, your new English teacher to you. Let's welcome him with a round of applause.

Mr. Brown: Hello, class. It's nice to meet you today. I'm very excited to be here.

Students: Nice to meet you, Mr. Brown.

Mr. Brown: Well..., I have a question. Do you like English?

Students: Yes, I do.

Ms. Sato: You sometimes seem to be reluctant to attend my class.

Mr. Brown: Wow! I hope you will have fun learning English with me.

Akari: Mr. Brown, can I ask you a question?

Mr. Brown: Of course, but can I have your name first, please?

Akari: Oh, my name is Akari. Where are you from?

Mr. Brown: I was born in the UK, and my family moved to Japan when I was sixteen years old.

Takeshi: Then, you must be a fluent Japanese speaker! Can I speak in Japanese?

Ms. Sato: This is an English class.

Takeshi: Oh, I try to speak English with Mr. Brown.

Mr. Brown: Thank you. I'm glad to hear that.

Ryota: Can I ask you a question?

Mr. Brown: Sure.

Ryota: What Japanese food do you like?

Mr. Brown: I like any Japanese food. I often cook *nikujaga* and *tempura*.

Ms. Sato: Oh, Really? Mr. Brown can speak Japanese well, also cook Japanese food.

Students: (clap)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ① ア I agree with you. | イ No, you can't. |
| ② ア Is that true? | イ I also think so. |
| ③ ア No, you can't. | イ I also think so. |
| ④ ア Is that true? | イ No, you can't. |
| ⑤ ア I agree with you. | イ Yes, we can. |
| ⑥ ア No, you can't. | イ Yes, we can. |